

平成26年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

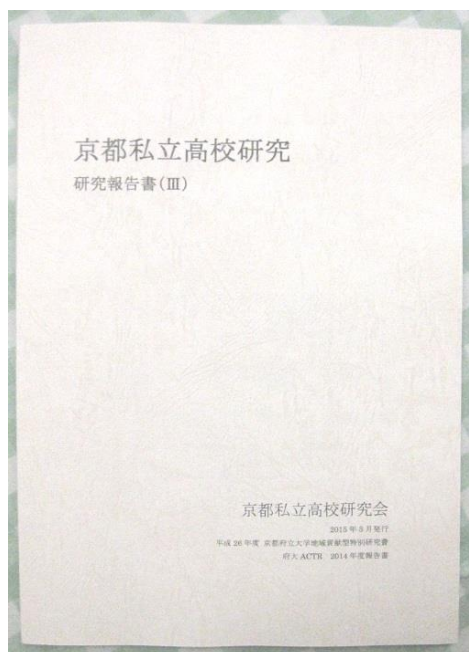
分類 番号	A10	取組 名称	京都府における高等学校制度の発展と私学の役割 －今後の私学政策のあり方をめぐって－
研究代表者：		公共政策学部 (研究科)	職・氏名： 教授・吉岡 真佐樹
研究担当者：			
<p>京都府立大学 (公共政策学部 教授 吉岡 真佐樹、同 准教授 長谷川 豊)</p> <p>外部分担者 (京都私立中高史研究会 代表 長谷川 庸作氏、洛星中学高等学校 教諭 児玉 英靖氏、 京都橘中学高等学校 教諭 菊地 昭男氏、京都産業大学附属中学高等学校 教諭 川西 宏和氏、 東海大学熊本教養教育センター 講師 瀧本 知加氏)</p> <p>協力者 (京都府立大学大学院生 増田 恵子、同 孫 群姍)</p>			
主な連携機関 (所在市町村、機関 (部署) 名)			
【研究活動の要約】			
<p><目的></p> <p>京都府における私立高校の発展経過と現状の把握、また公立高校の展開と私立高校の対応に関する2年間の検討を引き継ぎ、本年度は過疎が進み生徒減少が急速に進む北部私学の現地調査を行い、2000年以降の高校政策と公・私立高校の動向との関連を分析することにより、生徒減少期の私立高校の課題を明らかにしようとするものであった。全国2位と私学率の高い京都府において高校教育の発展を展望する上で、私学の課題あるいは公立・私立間のあり方の解明は不可欠である。</p> <p><調査・研究活動の概要></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 京都府文教課、京都府私立中学高等学校連合会および京都府教育庁から提供された資料の分析、並びに府北部私学4校を現地調査した。加えて、1970年代以降の公立高校政策の推移と公立・私立の協議組織とその協議内容の検討を深め、生徒減少期へ向けた高校政策のあり方を考察した。 2. その検討・分析を行うため定例会議を15回開催し、それらを踏まえて図書刊行・論文投稿・学会発表等を行った。あわせて、京都私学の校長、教頭および保護者会長をシンポジストに迎え、シンポジウム「21世紀京都の高校政策の展開と私立高校教育」を開催し(参加者46名)、「研究報告書(Ⅲ)」にまとめた。 			
【研究活動の成果】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 京都の私立高校は、戦前からの長い伝統と独自の教育により生徒・保護者から根強い支持を得、また公的な教育機関として法的にも認知され、質的、量的にも後期中等教育に重要な役割を果たしてきた。生徒減少期を迎えた私立高校の課題は、教育権や行政機関のあり方などを含めて根本的に検討される必要がある。 2. 私立高校も含めた京都の後期中等教育を考えるには、国の教育政策の推移と展開を注視する必要がある。 3. この25年間、京都の公立高校数は全国的には珍しくほとんど減っていない。ただ近年の公立高校改革により生徒獲得競争が加速化し、私立高校と激しい競争が展開され、結果として高校間、公私間の格差はさらなる拡大が危惧される状況にある。公立・私立高校の調和的発展には、公私トータルにとらえた今後の高校教育の在り方を検討することが急務である。 4. 私立高校は、公立高校との学費・施設・教育条件の格差が大きく、保護者も含めた運動の中で私学助成は法的に裏付けされ充実し、京都府では2010年度からの「あんしん修学支援」制度にまで発展した。この制度は事実上の私立高校授業料無償化政策ということができ、的確な検証が求められている。 5. 過疎が急速に進行する京都府北部の私学4校の現地調査(2014年9月、宮津・舞鶴・福知山)から、各校の学校づくりや生徒獲得の努力や課題が具体的に明らかになった。近いうちに南部私学でも共通する課題となることから、一層の検討を深めたい。 			
【研究成果の還元】			
<p>2015年3月14日、京都私立高校研究会シンポジウム「21世紀京都の高校政策の展開と私立高校教育」、 京都府立大学にて 参加者 46名</p> <p>2014年度 ACTR 報告書「京都私立高校研究 研究報告書(Ⅲ)」2015年3月 (府大図書館で閲覧可)</p>			
【お問い合わせ先】 公共政策学部 (研究科)		教授・氏名 吉岡 真佐樹	
Tel: 075-703-5344		E-mail: m_ysok@kpu.ac.jp	

参考（イメージ図、活動写真等）

(1) 京都私立高校研究会シンポジウム「21世紀京都の高校政策の展開と私立高校教育」（3月14日）



(2) 「京都私立高校研究 研究報告書(Ⅲ)」
(2015年3月発行)



(3) 北部私立高校調査（9月2～3日）

